

★ 高浜町 議会だより



リニューアルされた青郷保育所
新しい木の香りと温もりの中 迎えた入所式。
緊張ざみの子どもたちも すぐに目を輝かせて。(4月4日)



第118号

安土埋立地、大規模施設園芸拠点に

- 大規模に集約された施設園芸拠点形成を目指し、先端技術と強固な販売力を融合させ、地域資源を活用したエネルギーの供給から、生産、調整、出荷までを一気通貫して行う「次世代施設園芸拠点」の整備を支援。

農業振興

- 天候・有害鳥獣に左右されない農業推進
- 新たな産業の育成・雇用創出（大規模トマトハウス、集出荷施設、加工施設）
- 地場資源エネルギーを活用した低炭素まちづくりの推進

高浜町次世代施設園芸推進コンソーシアム

農林水産省

国庫補助金交付
補助金交付

福井県

補助金交付

高浜市

補助金交付

高浜町次世代施設園芸事業

■園芸施設運営

- 大規模温室施設（連年採収）
施設1（トマト）
施設2（夏秋野菜）
施設3 モデル施設ポイラー（果菜類・木質ペレット）
- 閉鎖型緑化工場
- 集出荷施設
- カット野菜施設

電気供給（地産エネルギー）

pellets供給（地産エネルギー）（協賛中）

食用油供給（地産エネルギー）（協賛中）

JAわかさ

高浜町内・近隣市町農業者

野菜出荷

高浜町民・近隣住民

雇用(100~150人規模)

再生可能エネルギー利用

- 廃炭素まちづくり推進
- 蓄熱ハウスへのエネルギー供給

高浜太陽光発電所（ｽﾌﾟｰﾗｰ）
【陸上電力】

バイオマス発電機

チップ・ペレット製造施設

食用油回収
結露や汚油の駅スーパー飲食店民宅一般家庭など

水上バイクの安全対策や キャンプ禁止区域での警備活動への効果を期待



水上バイクの安全対策の強化、キャンプ禁止区域のルールの徹底など、これまで議会でも問題との認識で、行政に対し何らかの改善を求めてきました。

その答えとして、今議会で「高浜町の海岸を守り育てる条例」が理事者から提案されました。

条例では、高浜町の海岸エリアで、浜茶屋などを営む「事業者」、行政や各種団体などの「関係団体」、浴客など海岸の「利用者」それぞれが果たすべき責務を定め、それに反する場合は町長が必要な措置を講ずると定めたものです。

議会審議では、守るべき責務が「若狭高浜海のルールブック」という条例とは別の冊子に規定されていることに疑問が示されましたが、湘南海岸周辺自治体で既に実績のある条例化であることから、全会一致で可決しました。

今後、この条例は、海のルールブックも含めて不断の見直しを行い、実効性のあるものに仕上げていくことが必要であり、議会としても注視していきます。

海岸を守り育てる構成図



TOPICS

高浜町の海岸を守り育てる
条例を全会一致で制定

青葉トンネル意見書について 舞鶴市議会と協調姿勢確認

平成26年2月19日(水)午後4時より、国民宿舎城山荘3Fにおいて舞鶴市議会・高浜町議会振興協議会が開催されました。

原子力規制庁、地域原子力規制統括管理官(若狭担当)より新規規制基準の対応状況について説明を受けた後、原子力発電所立地地域と隣接地域としての有意義な意見交換が出来ました。

高浜町議会は12月定例会で青葉トンネルの早期改良整備の実現に向けて意見書を議決し、国、京都府、福井県に対し強力に要望活動を展開することを確認したところです。

これまで陳情を繰り返してきましたが、県境にあることから要望の実現に至らず、改修工事が行われることなく放置され現在に至っている切実な現実を理解していただき、舞鶴市議会と共に協調しながら要望活動に取り組むことを確認しました。



舞鶴市議会との協議の様子

TOPICS

舞鶴市議会・高浜町議会
振興協議会開催される

3月定例会では以下の議案を慎重審議しました

	議 案 件 名	審議した委員会	本会議採決結果	関連ページ
承認第1号	専決処分の承認を求めること(平成25年度高浜町一般会計補正予算(第6号))	予算決算	全員賛成で可決	P12
承認第2号	専決処分の承認を求めること(平成25年度高浜町水道事業特別会計補正予算(第2号))	総務産業	全員賛成で可決	P11
議案第4号	平成25年度高浜町一般会計補正予算(第7号)	予算決算	全員賛成で可決	P12
議案第5号	平成25年度高浜町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	厚生文教	全員賛成で可決	P14
議案第6号	平成25年度高浜町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	厚生文教	全員賛成で可決	—
議案第7号	平成25年度高浜町介護保険特別会計補正予算(第3号)	厚生文教	全員賛成で可決	—
議案第8号	平成25年度高浜町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	総務産業	全員賛成で可決	P11
議案第9号	平成25年度高浜町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	総務産業	全員賛成で可決	P5
議案第10号	平成25年度高浜町集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	総務産業	全員賛成で可決	—
議案第11号	平成25年度高浜町宅地分譲事業特別会計補正予算(第2号)	総務産業	全員賛成で可決	P11
議案第12号	平成25年度高浜町水道事業特別会計補正予算(第3号)	総務産業	全員賛成で可決	—
議案第13号	平成26年度高浜町一般会計予算	予算決算	賛成多数で可決	P5・12・13
議案第14号	平成26年度高浜町国民健康保険特別会計予算	厚生文教	全員賛成で可決	—
議案第15号	平成26年度高浜町国民健康保険診療所特別会計予算	厚生文教	全員賛成で可決	P14
議案第16号	平成26年度高浜町後期高齢者医療特別会計予算	厚生文教	全員賛成で可決	—
議案第17号	平成26年度高浜町介護保険特別会計予算	厚生文教	全員賛成で可決	P14
議案第18号	平成26年度高浜町簡易水道事業特別会計予算	総務産業	賛成多数で可決	P5・11
議案第19号	平成26年度高浜町公共下水道事業特別会計予算	総務産業	賛成多数で可決	P5
議案第20号	平成26年度高浜町集落排水事業特別会計予算	総務産業	賛成多数で可決	P5・11
議案第21号	平成26年度高浜町公有水面埋立事業特別会計予算	総務産業	賛成多数で可決	P5・11
議案第22号	平成26年度高浜町宅地分譲事業特別会計予算	総務産業	全員賛成で可決	P11
議案第23号	平成26年度高浜町水道事業特別会計予算	総務産業	賛成多数で可決	P5・11
議案第24号	高浜町の海岸を守り育てる条例の制定	総務産業	全員賛成で可決	P11
議案第25号	高浜町職員定数条例の一部を改正する条例	総務産業	全員賛成で可決	—
議案第26号	高浜町農業及び漁業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	総務産業	賛成多数で可決	P5
議案第27号	高浜町漁港管理条例の一部を改正する条例	総務産業	賛成多数で可決	P5
議案第28号	高浜町下水道条例の一部を改正する条例	総務産業	賛成多数で可決	P5
議案第29号	高浜町法定外公共物管理条例の一部を改正する条例	総務産業	賛成多数で可決	P5
議案第30号	高浜町水道給水条例の一部を改正する条例	総務産業	賛成多数で可決	P5
議案第31号	高浜町簡易水道条例の一部を改正する条例	総務産業	賛成多数で可決	P5
議案第32号	高浜町国民宿舎事業特別会計条例を廃止する条例	総務産業	全員賛成で可決	P5
議案第33号	高浜町厚生休養施設(国民宿舎城山荘)事業に地方公営企業法を適用する日を定める条例を廃止する条例	総務産業	全員賛成で可決	—
議案第34号	高浜町社会教育委員条例の一部を改正する条例	厚生文教	全員賛成で可決	—
議案第35号	高浜町立公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	厚生文教	全員賛成で可決	P14
議案第36号	高浜町青少年問題協議会条例の一部を改正する条例	厚生文教	全員賛成で可決	—
議案第37号	高浜町老人憩いの家の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	厚生文教	全員賛成で可決	—
議案第38号	高浜町教育会館の設置及び管理に関する条例を廃止する条例	厚生文教	全員賛成で可決	—
議案第39号	高浜町海釣り桟橋及び遊歩道の指定管理者の指定	総務産業	全員賛成で可決	—
議案第40号	高浜町広瀬山自然公園オートキャンプ場の指定管理者の指定	総務産業	全員賛成で可決	—
議案第41号	はまなすパークの指定管理者の指定	総務産業	全員賛成で可決	—
議案第42号	城山駐車場の指定管理者の指定	総務産業	全員賛成で可決	—
議案第43号	高浜町休養施設の指定管理者の指定	総務産業	全員賛成で可決	P11
請願第3号	要支援者を介護予防給付から外すことに反対の意見書提出についての請願	厚生文教	継続審査	—
請願第1号	政府並びに原子力規制委員会が、国民の安全の確保義務に基づき、原子力災害対策及び避難計画等の策定と実効性に責任を持ち、原発の再審査を慎重に行うよう求める意見書の提出を求める請願	原子力対策	賛成少数で不採択	P5・16
陳情第13号	要支援者への予防給付(訪問介護・通所介護)を介護給付として継続することについての意見書提出に関する陳情	厚生文教	継続審査	—
陳情第1号	T P P 交渉並びに米政策に関する要請	総務産業	全員賛成で可決	P11

本会議での質疑・討論

質疑 議案第9号

渡辺 孝議員

若狭総合環境センターの廃業により今後何処の業者に契約されるのか。

上下水道課長

町の許可を取得している業者に発注する。

質疑 議案第13号

上尾徳郎議員

昨年も漁港再整備事業として行っている。委託業者は同一か。

まちづくり課長

指名競争入札による発注を行っている。同一業者ではない。

磯部武史議員

事代会館移転整備事業が予算計上されたが、現段階で了承していない。七年祭を考慮した配置など、事代の要望は反映されるのか。

まちづくり課長

会館の役割は理解している。平成26年度、十分な協議を行いご理解

質疑・討論

解いただけるよう努力する。

質疑 議案第26号～31号

渡辺 孝議員

この提案の仕方だと、今後、増税時、条例改正が不用になる。これでよいのか。

副町長

検討課題とする。

質疑 議案第32号

小幡憲仁議員

城山荘には内部留保資金があり、今後決算を迎えると残額が確定するが、その残額はどう管理するのか。

副町長

確定した残高は一般会計に入れて基金で管理する。

討論 請願第1号

反対討論 栗野 明雄 議員

規制委員会は慎重に審議を行

なっている。此の意見書案を採択する必要はない。

賛成討論 渡辺 孝議員

原子力規制委員会が、国民の安全の確保義務に基づいて、原子力災害対策及び避難計画等の策定と実効性に責任を持ち原発の再審査を慎重に求める意見書であり賛成。

反対討論 山本 富夫 議員

磯部 武史 議員

今年度内に避難計画を策定して公表したいとの事である。その計画を見てから判断したい。

討論 議案第13号

反対討論 渡辺 孝議員

総合的に判断して反対とする。

賛成討論 上尾 徳郎 議員

高浜町の現状にあった実効性のある年次計画の策定を期待し賛成とする。

賛成討論 山本 富夫 議員

新年度予算については、大変厳しい状況であるがしっかりと執行して行っていく。

討論 議案第18号～21号

反対討論 渡辺 孝議員

公共料金の消費税ぐらい据置くべきである。

安土埋立て事業は実施すべきはなかった。

賛成討論 山本 富夫 議員

消費税の8%は高齢化社会の福祉に役立てるものである。

公有水面埋立地については当初予定と方向は違ったが新たな事業が生まれた。

討論 議案第26号～31号

反対討論 渡辺 孝議員

今後の消費税増税時にも議会の承認を求めなくてもよく、議会の議決権を軽視するものであり反対。

賛成討論 山本 富夫 議員

条例の改正で国の上位法に基づいて地方自治がしっかりと運営される事が基本ベースである。



町の放送は長い

答弁 斬新なアイデア、検討する

磯部 武史 議員

【磯部】

有線放送審議会でも問題提起されたが、町の告知放送が長く内容が伝わりにくい。

告知の項目だけを放送し、内容はテレビで行うなど検討してはどうか。

【防災安全課長】

放送件数を伝え、「最初に」「最後に」という言葉を付け、また放送日の調整や詳細内容はデータ放送で行うなど時間短縮を目指している。

【磯部】

文字放送や自動音声による告知も行っているが、面白くない。2つのチャンネルがあるので、1つは告知を行う担当者がやってはどうか。担当者の顔も見え、親しみがわくのでは。

【防災安全課長】

斬新なアイデアだと思う。技術的また財政的に可能か検討する。

◆有線放送端末を希望者に

【磯部】

2世帯家庭など、有線放送端末を複数希望する方が多い。防災面からも災害警報が聞こえないなど問題があるのでは。

【防災安全課長】

告知器には外部スピーカーが取り付けられる仕様になっており、個人負担による外部スピーカーをお願いしたい。

【磯部】

消防団員等、防災に関わっておられる方で希望者には貸与できないか。

【防災安全課長】

各団体と協議する。



有線放送告知器と外部スピーカー



26年度大型予算は財政面で万全か

答弁 原発財源だけでなく他省庁財源を流用

山本 富夫 議員

【山本】

平成26年度当初予算は、大規模な事業が組まれたが財源根拠と内容について問う。

【町長】

コンパクトシティ構想の核となる新庁舎・公民館建設が、計画段階から実施段階に移行する。文化会館・中央図書館改修工事、汐入雨水調整池整備工事、次世代施設園芸導入加速化支援事業の3件で約26億4千万円となり、老朽化対策、治水対策、新たな産業誘致など、目に見える形となった。

財源は、原子力関連財源に依存するのではなく、国交省や農水省の補助金を積極的に活用した。

結果、一般会計では前年度比22億5389万2千円の歳出増となりながら、財政調整基金の取崩しを前年度以下の3億665万2千円に抑えることができた。

【山本】

本年4月から組織変更する高浜病院の新体制状況及び運営について。

【保健課長】

この4月より、「独立行政法人地域医療機能推進機構（通称：JCHO）」若狭高浜病院に名称が変更。「サンビュー高浜」は、「若狭高浜病院付属介護老人保健施設」に、「高浜社会保険訪問看護ステーション」通称「サンハート」も「若狭高浜病院付属訪問看護ステーション」に変更し、運営は、新たな機構が独立採算で行い赤字を出さない病院運営がとめられる。

【山本】

JR若狭高浜駅前道路改良に伴う高浜駅への大型バスの乗り入れについて。

【まちづくり課長】

9mの大型バスは可能であるが、12mの大型バス乗入れについては非常に厳しい状況である。



次世代施設園芸導入加速化支援事業について

答弁 「新たな農業」として取り組む

横田 則孝 議員

【横田】

昨今の町内の経済状況を見ると、高浜発電所の稼働停止により、景気が落ち込み各産業において大きなダメージを受けている。今こそ新たな産業の育成、雇用創出に力を入れるべきと考える。

今回、和田青戸入江にある安土公有水面埋立地において、地域資源エネルギーを活用した低炭素のまちづくりの推進など、雇用創出につながる次世代施設園芸導入加速化支援事業に取り組まれるとお聞きしたが詳細について問う。

【町長】

事業主体は、関東地域で優れた農業生産技術と農産物に様々な付加価値を付けた商品流通力で実績のある千葉県の大手農業法人が中心となる。場所は安土公有水面埋立地約7haで、平成26年度の秋に工事着工し、平成28年度から操業開始予定で「太陽光利用型の大規模トマトハウス」や結球レタスを栽培する「閉鎖型植物工場」、「野菜の集

出荷場」「カット野菜工場」などが併設され、雇用規模は約150人程度見込んでいる。新たな農業として取り組んでいく。

◆町職員の人事管理と人材育成

【横田】

平成26年から28年度の3ケ年に渡り、大型プロジェクト事業が計画されている。行政サービス、行政運営を進める上で町職員の役割は大きく重要である。適材適所の人員配置や管理また人材育成に力を入れるべきと考える。

【副町長】

職員の資質の向上を図ることが最重要課題と認識している。
人事評価制度を運用しながら、職員的能力を的確に把握し、その能力を最大限活用するために各所に適正配置を行う。高浜町人材育成計画に沿い、福井県自治研修所や、その他の各種研修機関が実施する研修に参加して、職員のスキルアップに努めていきたい。



語り部・ボランティアガイドの養成は

答弁 町の魅力発信につなげたい

栗野 明雄 議員

【栗野】

語り部についての現状はどのような状態か。高浜町には、歴史・風土・文化など、多くあり、表舞台の袖で活躍された高浜人も多い。語り部検定などを行い、人材育成に努めるべきではないか。

また、青葉山のボランティアガイドの養成も急務になっている。

【まちづくり課長】

現在、まちづくりネットワークが、語り部講座を開催している。高浜の各種イベントで活躍中である。青葉山麓研究所をコーディネートに、青葉山麓ボランティアガイドが育成されることを支援していきたい。

団塊世代の方にも活躍して頂きたいので、シルバー人材センターとも連携していきたい。

◆旧青郷小学校高野分校跡の建物の利用は。

【栗野】

この建物は、作家の水上勉氏が

教鞭を執った建物である。利用できないか。

【まちづくり課長】

現在は、農機具小屋として使われている。老朽化が激しく、移築できる状態にはない。

歴史・文化を次世代に伝えていくと共に、水上文学の愛好者に対してはしっかりと案内したい。

◆事代区の海岸道路と、本町通りを結ぶ道路を要望する。

【栗野】

夏期の生活道路の確保、また、住宅密集地なので、防火対策にも効果がある。緊急車両の動線も、格段に良くなる。住宅地としての価値も向上する。

【建設整備課長】

区画整理や防火地区の指定を含めた、都市計画の見直しが必要である。住宅密集地の改善は、重要政策と認識している。実現可能な施策を検討したい。



高浜病院への支援について

答弁 支援の内容を検討

廣瀬 とし子 議員

【廣瀬】

社会保険高浜病院はこの4月から機構改革により「独立行政法人地域医療機能推進機構 若狭高浜病院」となる、現在の高浜病院への支援について問う。現状は2階療養病棟の閉鎖などもあり経営的に大変厳しい状況である。また、医師や看護師など医療従事者の不足により、様々な弊害も発生する。町立の医療機関ではないが今まで町の中核医療を担ってきた病院への今後の対応を問う。支援を行うのであれば、どのような形で、いつ行うか。

【保健課長】

高浜病院は町の中核となる医療機関である、本町にとって必要不可欠な医療機関であると認識している。病院経営においても、独立採算の観点から、単純に赤字補填をとという考え方は今のところ持っていない。不採算な部門として、町の救急医療や、医療機関として質向上に向けての投資的な経費等

について、今後支援が必要になる。その様な状況の中、支援内容等も、中長期的な視点をもって柔軟に行っていく必要がある。高浜病院と連携を密にしながら支援の内容を検討する。

◆はまなすパークのバリアフリートイレの進捗状況について

【廣瀬】

以前の定例会でも質問したがバリアフリートイレ設置について、フリーシーズン障害者や高齢者の方が安心して利用出来るような考えはないか問う。必要性を強く感じる。

【まちづくり課長】

大規模な改修に関しては福井県での改修をお願いしている。過去にも何度か県とも協議した。県が所有し管理している公衆トイレも数多くあり、下水道に未接続で衛生的にも良い状態でない公衆トイレが多数存在し、そうした施設から優先的に改修が行われている。



再稼働の前に避難訓練の検証をせよ

渡辺 孝 議員

【渡辺】

原発の再稼働は認められないが、少なくとも避難訓練の実施とその検証なしに再稼働をすすめることはあまりにも住民の生命軽視である。せめて避難計画と避難訓練の検証なしには再稼働は認めないという町長の決断をもとめる。

【防災安全課長】

「原子力災害対策特別措置法」等が改正されたことにより、本町でも昨年8月、「地域防災計画」を全編にわたり見直した。この「計画」にもとづき原子力災害時に30km圏外への広域避難するための住民避難計画の策定作業を現在行っている。避難訓練を実施したうえで、その結果を検証していく。

◆就学援助事業について

【渡辺】

新年度における、準要保護児童・生徒就学援助事業、および特別支援教育就学奨励事業についての方針を問う。

①昨年(平成25年)8月、生活保護基準が引き下げられたが、この影響で「要保護」から「準要保護」になった対象者はいるか。
②準要保護の保護基準額等に変更はないか。
③準要保護の場合、補助基準額の「1.3倍以内」という基準に変更はないか。
④支給内容に変更はないか。

【教育長】

①今回の生活保護基準引き下げによって、「要保護」から「準要保護」に変更された対象者はいない。
②本町においては、国の算定基準を準用しており、国は見直し前の基準を適用するとしているので、高浜町も引き続きこれを適用する。
③「生活保護基準額の1.3倍以内」は変更予定はない。
④支給費目の変更は予定していないが、消費税増税にともなう支給単価の増額は必要と考えている。



コンパクトシティー計画に おける福祉分野の計画促進が必要

答弁 障がい者福祉施設の整備計画を早めたい

小幡 憲仁 議員

【小幡】

コンパクトシティー計画の大きな柱のひとつである福祉分野の計画進捗が見えてこない。

庁舎・公民館建設と城山公園整備は進んでいるが肝心の福祉分野の計画はどうだったのか。

【福祉課長】

障がい福祉分野の施設整備が遅れている。高浜町のような人口規模が少ない町では高齢者福祉と併せた施設整備を検討している。

【小幡】

検討するとの答弁は何度も聞いた。町として優先整備すると約束した障がい者福祉施設の整備目途を聞いている。

【町長】

関係者と早急に協議し整備計画を進める。

◆消防団の装備充実について

【小幡】

東日本大震災で消防団員に多く

の犠牲者が出たことから消防団の装備基準が見直しされた。

団員の安全を守るため早急に装備の充実が必要である。

【防災安全課長】

順次整備充実を図っており一部基準を満たしている。平成26年度以降も順次整備を進めていく。

◆保育所のリフレッシュ計画

【小幡】

青郷保育所がリフレッシュされた。喜ばしいが町内他保育所も老朽化している。

特に和田保育所は津波浸水エリアにあることと高浜保育所は送迎が困難な立地条件にある。抜本的なリフレッシュ計画が必要。

【保健課長】

必要性は認識している。町内保育所の適正配置や効率の運用、指摘された立地上の課題や、今後進められる子ども子育て支援新制度も踏まえ総合的に検討していく。



「ふるさと納税」の実績、現状は

答弁 我が町を応援していただける

ような対応を検討したい

大塚 ひとみ 議員

【大塚】

「ふるさと納税」制度がスタートして5年が経過。鳥取県米子市や佐賀県玄海町等、年間2億円以上の寄付金を集め頑張っている所は多い。

税金の優遇と特典を得る寄付者、寄付を得る町、特産品の売り上げを伸ばす地場産業の3者が三方一両得の素晴らしい制度だが、当町における件数と寄付金額、全国ランキング、寄付金の活用方法、特産品プレゼントについてはどうか。高浜の特産品やイベント等の資源をプレゼントとして活用すれば大きなPRとなる。町税収が落ち込んでいる中、この制度を積極的に活用すべきではないか。

【副町長】

24年度までの5年間の実績は34件、202万9千円であり、25年度は現時点で6件、37万円である。寄付金は一般財源として活用している。県内ランキングは最下位で残念な結果である。県と県内市町

が連携し、公共施設や各市町の特産品の割引クーポン券を差し上げている。

特典については、人気投票化が懸念されるので、金額、内容について慎重に検討したい。様々な施策を着実に実行し「選ばれる町、応援したい町、高浜町」の実現を目指していく。

【大塚】

この制度を積極的に活用しているとは言い難い。メリット、デメリットはそれぞれあるが、要はやる気があるかどうかだ。

今ある資源の見直しや高品質な特産品の開発にも取り組み、町の活性化につなげて欲しい。「ふるさと納税課」を新設してはどうか。

【町長】

「ふるさと納税」というものを積極的、戦略的に使っていない部分はある。今後知恵を絞って前に進めて行きたい。



「子ども子育て支援法」への対応は 答弁 「子ども・子育て会議」を 立ち上げ準備を進めていく

上尾 徳郎 議員

【上尾】

子ども・子育て支援法により、子ども・子育て会議の設置が義務化された。子ども・子育て会議の設置、子ども・子育て支援事業計画策定による「次世代育成支援行動計画」の扱い、子ども・子育て会議の構成と働きは。

【保健課長】

「次世代育成支援事業計画」を策定して子育て支援に取り組んできたが、新制度のもと策定する「子ども・子育て支援計画」に引き継ぎ、支援の充実を目指す。

「子ども・子育て会議」は次世代育成支援策定委員に新制度に係わる委員を加え、子ども・子育て支援事業計画を策定し、継続的に点検・評価・見直しをしていく。現在、設置に向け準備を進めている。

◆計画相談支援制度について

【上尾】

障がい者支援法・児童福祉法により、「計画相談支援」を実施しているが支援の内容と実施状況また、

障がい児支援の現状は。

【福祉課長】

「指定特定相談支援事業所」の専門員が障がい福祉サービス・障がい児通所支援サービスの利用者と家族の意向を聞き総合的な援助方針による「サービス等利用計画」（ケアプラン）を作成。27年3月までに全ての利用者に作成するように順次進めていく。

言語聴覚士・支援員による保育所訪問支援で、発達上支援が必要な児にアドバイスと発達確認。子育て支援センターにて発達支援教室・乳幼児の早期療育にも取り組んでいる。

◆行政機構の再編について

【上尾】

庁舎移転に伴う、行政機構再編への取り組みの方針は。

【副町長】

分散している機構を改善し、住民の利便性を高め、行政課題を共有し迅速に対応・解決する体制作り、慎重に取り組んでいる。



消防団の強化と 地域防災組織について

西出 秀雄 議員

【西出】

まもなく3年を迎える東日本大震災では、多くの消防団員が被災しながら水門の閉鎖や避難者の誘導にあたり、多くの住民の命を守った。昨年の12月に消防団支援法

が施行され、消防団を中核とした地域防災力の強化について審議会に諮問、国は地方自治体に対し、報酬などの処遇改善や訓練支援などの責務を課した。大災害を見据えた消防団の強化と地域防災組織との連携は現状はどうか。

【防災安全課長】

昨年の12月に、消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律が成立、消防団への加入促進は平成23年より公務員の加入特例を設けている。

処遇の改善は、報奨金は県の平均額に引き上げ、退職金も平成26年より一律5万円引き上げる。装備及び教育訓練は本部と協議のうえ調整する。

地域防災組織との連携は協力し

合える体制作りが重要であり、体制を支援する。

◆鳥居浜・白浜海岸の砂浜等の現状と青の松原の管理

【西出】

平成17年区長会から要望、その後調査検討が行われ、県主催による対策工法を決定、平成20年から捨石投入被覆ブロック工事が施工、その後の調査検討は、青の松原の景観、植栽と維持管理状況は。

【建設整備課長】

平成20年から潜堤工事に着手。進捗状況は、西側潜堤約130m完了予定で浸食度合いも安定。次年度結果を協議検討し、整備方針、施工位置を検討する。砂運搬工事は例年どおり行う。青の松原の松くい虫や、塩害、また風雨等により年間10本ほど枯れ、伐採、植栽はスーパードームを計画的に行う。

総務産業常任委員会

委員長 栗野 明雄

●承認第2号

業者選定は、今回は、緊急のことであるので、個別に業者にあたり選定した。

●議案第8号

繰り越し明許費について。

フェンス工事は、土砂崩れなどが完工した後に工事をするためである。

●議案第11号

25年度で、2区画の販売ができた。不動産業者の協力、販売努力の効果が出たとの理解が示された。

●議案第18号

遠方監視システムの耐用年数は、

5～7年だが、メンテナンスの結果、10年以上持っている。

●議案第20号

子生・東三松の排水処理施設は、

耐用年数の関係で、まだ解体はできない。

●議案第21号

償還期限は、平成32年3月末であることを確認した。

●議案第22号

今年度も3区画の販売目標である。

●議案第23号

「青の水の製造量について。」

現在、製造と消費のバランスが取れており、このまま推移したいとの認識を示された。

●議案第24号

この条例は、高浜町の海岸を守り育てる事を目的にしたものである。4月1日から施行する。関係者・利用者の責務を明らかにする。詳細は、

ルールブックの中で定める。

海岸の国際認証基準「ブルーフラッグ」の認証取得を、日本で最初に取得する事へ挑戦する旨の報告があった。



Blue Flag ブルーフラッグ

●議案第43号

管理者となる団体には2社の応募があり、若狭町の実績など積極的にアピールした、(有)せくみ屋に決定した。指定期間は1年間。常に経営状況を伺う旨の報告もあった。



城山荘

●陳情第1号

TPP交渉では、重要5品目の死守に向けた姿勢。農業政策では、所得安定に向けた施策。水田フル活用では、自給率向上のための支援。農地の中間管理機構では、「人・農地プラン」を基本に地域農業を守る対策を。などを要望した意見書を提出した。

また、JAの姿勢に対して、疑問であるとの意見が出された。

視察報告

◇2月12日(水)・13日(木)

岐阜県八百津町と、三重県伊賀市モクモクファームを視察した。

八百津町は、合併計画の破綻により、財政状況のピンチを招き、財政改革に取り組んできた。コミュニティバスの見直し、職員研修。また、役場職員が緊急時には、消防隊員としての出動態勢。など見習うべきものであった。

八百津町は、杉原千畝の出身地でもあり、記念館を訪れ、業績を学んだ。

モクモクファームでは、農業の6次産業化の先進企業であるので、木村社長にお話を伺った。まず地産地消からはじめた。子どもへの食育をしっかりすることは、郷土への愛着心を育て、地産地消に貢献する。



杉原千畝記念館

予算決算常任委員会

副委員長 横田 則孝

●承認第1号

■専決処分承認を求める件

町内で著しく漏水箇所が確認され、早急に修繕をする必要が生じたため計上された。

●議案第4号

■平成25年度高浜町一般会計補正予算(第7号)

歳入歳出それぞれ、1億3450万9千円を追加し、歳入歳出総額は91億1270万9千円となった。

高等学校等生徒通学費助成金の減額
の状況について。

8割の方が申し込まれ、2割の方が助成金の申し込みをされていない、今後できるだけ助成申請をしていただけるように検討する。

●議案第13号

■平成26年度高浜町一般会計予算

歳入歳出予算98億3376万円について審議。

歳出から始まり、議会費、総務費、民生費等々から教育費、予備費まで、また歳入は、町税、地方交付税、

国庫支出金、県支出金などについて。

【審議(質疑)の概要】

◆総務費

前年度との人材育成事業補助申請の
違いについて。

上限が1事業主あたり100万円から50万円に変更、教育訓練に従事している間の労働者の人件費はカットとなるなどの一部変更があった。

地域おこし協力隊員の確保について。

これは国の総務省が公募して、大都市部より地域のサポーター役や都市部とのつなぎ役として人材を派遣して地域おこしをする事業とのこと。

企業誘致事業の安土公有水面埋立地
整地工事について。

面積は7万㎡で土砂は2700㎡必要である。次世代施設園芸導入加速化支援事業を進める上で平均50cmほどの嵩上げをして整地をする必要が生じたため整地工事をする。



かさ上げされる安土公有水面埋立地

◆民生費

臨時福祉給付金給付事業について。

対象者は平成26年度分市町村民税(均等割)が課税されていない方で、4月から消費税率8%へ引き上げられるため所得の低い方々への負担低減として、暫定的・臨時的な措置として臨時福祉給付金を支給する。

子育て世帯臨時特例給付金給付事業
について。

4月から消費税率が8%に引き上げられるために、子育て世帯への影響を緩和するとともに、子育て世帯への消費の支えを図る観点から、臨時的な措置として子育て世帯臨時特例給付金を支給する。

◆衛生費

不燃物処分地の搬入路敷地および給
水管布設工事について。

現在、井戸水で浸水処理対策を行っているが、使用する水量が低下してきたため上水道を引き込み、水量を確保して安定させ処理する、また、搬入路を変更して施設の充実はかる。



搬入路を変更する不燃物処分地

◆労働費

シルバー人材センター運営補助金増
額について。

シルバー人材センターでは、平成26年度より新たに観光ガイドやとりたて市、農業の労働支援、各イベント事業に対して国より補助を受けて行われるため、町としても運営補助金を増額した。



城山公園進入路(航空写真)

◆農林水産業費

高浜漁港施設再整備計画に伴う測量調査設計業務について。

施設整備を行う前に、養殖など水揚げ量を確保して、漁業者の所得の向上、経営改善をはかるために6次産業に向けて勉強会を実施しながら意識改革につとめたい。

◆商工費

事代会館移転整備業務委託料について。

地権者の方々と会館を利用される区民の方々の希望にそった位置に移転すべきとの意見が出された。城山公園への進入路については、

周辺施設と一体となった整備として考えている、今後は魚商組合の方々とも打ち合わせながら進めていきたい。

◆土木費

住宅改修補助の利用条件を営業事業や商業規模に拡大してはどうか。

5～6月頃を目途に具体的に要項をまとめたい。

また、汐入川水質浄化対策の状況について、2年目に入り効果が出てきている。泥を食べる微生物を発生させ、浄化させている。小中学生の研究の場所としてPRして事業を進めていきたい。

◆教育費

4月より消費税の値上げがあるが学校給食費の値上げを考えているのか。

調理やメニューの工夫をして値上げをしないで対応する。また、アレルギーを持った児童や生徒の給食については町内の33名の該当者があり、医師の診断書を出していただき、別メニューでの給食を提供している。

各教育施設の老朽化が進んでいる、中央体育施設新築基本設計について。

築30年が経過している、現在の

建物を取り壊して新築する設計費を計上した。建設については財源の目途をつけてから検討する。



中央体育施設

【質疑総括】

今後進められる木質バイオマス事業の事業規模や目的、場所などの再検討や福井国体へ向けての安土公有水面埋立地の施設誘致の位置など、また、城山公園・漁港周辺整備においては、各関係者や地域住民の方々とのコンセンサスを取りながら課題に取り組んでいたきたい。この2～3年の間に雨水対策や役場庁舎の移転など、大型プロジェクト事業が継続して計画されている。今後も財政の健全化を念頭に置き、行政運営を進めていただくことを期待する。

ぜひ!

議会の傍聴にお越しく下さい



事前予約は不要です。当日お越しただけで傍聴できます。

次回定例会は6月です。お待ちしております。

高浜町議会事務局 ☎0770(72)7710

厚生文教常任委員会

委員長 上尾 徳郎

●議案第5号

財政安定化支援事業繰入金の増加の理由は。

保険医療機関の病床数や人口によって算定されるもので、見込額よりも増額となったが例年の範囲である。

●議案第15号

診療報酬収入の見込みと、診療報酬が少し上がったが消費税の値上がりは想定しているか。

診療報酬は今年度実績による月額収入を月掛して試算し計上している。消費税値上がりは診療収入では少し影響はあるが、在宅診療で加算点数が上がるのでさほど影響はない。

高浜病院への研修医の派遣状況と、今後の高浜病院との関わりは。

週3回(火・水・木)派遣し週1回当直に行っている。

高浜病院との連携では、研修生・学生に対して病院の病棟で「総合医」を、診療所で「家庭医」を体験す

る新しい取り組みを始めている。

●議案第17号

包括的・継続的ケアマネジメント事業補助金とは。

県補助10分の10の新規事業で、介護制度改正により、在宅医療・介護連携を進める為に医療・介護・地域を結び、在宅介護へと進める為の事業補助金で講習会などを予定している。事業としては高浜町は県境にあり舞鶴の医師会などの連携や、若狭地域全体との検証も必要で課題も多いが、現状をよく捉えて第6期介護計画を策定する。

●議案第35号

教育会館解体による役場内への仮設・移転の為のものだが問題はないか。

事務所が役場内で活動は他の公民館や瑞祥苑などで、弊害はないと思うが不自由はいがめなく町民の皆さんの理解をお願いしたい。

名称が中央公民館となっているが高浜公民館ではないのかまた、活動のすみ分けはどうするのか。

新しい公民館では、館長含め活動を高浜地区に重点を置き、中央

公民館事業は社会教育事業の中で取り組んでいく方針で、名称などに関しては必要に応じて条例改正していく。

視察報告

◇2月3日(月)、4日(火)

①株式会社かんでんエルハート

(大阪府住之江区泉)

「重度障がい者多数雇用事業所」障がい者従業員の作業内容や就労体制・支援など聞き職場を見学し、障がい者が働く上での問題点やその対応など意見交換し研修した。

②NPO法人

子育てサポートくるみ

(大阪府羽曳野市壺井)

「手をつなぐ子育て」をモットーに保育園・学童保育・児童発達支援・放課後等デイサービス・市の地域子育て支援拠点事業に取り組みされている。

副園長より保育方針の「さくら・さくらんぼ保育」について実践説明やNPO立ち上げの経緯など聞き、幼児保育につい



て意見交換し研修。自然の中の園の施設や生き生きとした園児の保育現場を見学した。

③加東市立社児童館

やしろこどものいえ

(兵庫県加東市東古瀬)

子育て支援の拠点として市にある3つの児童館の中心として、支援事業を実施されている。平沼公園の広い敷地内に木造の3棟の施設があり、其々の活動内容の説明を園長より受けながら見学し、支援課の方も交えて子育て支援についての市の取り組みなどを聞き意見交換し研修した。

④しあわせの村

(兵庫県神戸市北区山田町)

総面積20.5haの総合福祉ゾーンで障がい者や高齢者の自立・社会参加実現のための施設また、学習・交流・リフレッシュの為の施設・スポーツ・レクリエーション施設がある。代表指定管理者の神戸市福祉振興協会の方より、各施設の概要説明を受け、バスにて各施設を視察した。

地域医療・福祉問題調査 特別委員会

委員長 廣瀬とし子

今回の委員会は、高浜町保健福祉センターを視察した。

子育て支援センターの

現状と取り組みについて

保健課長・課長補佐・担当者3名出席のもと、説明を受け、その後意見交換、現場見学を行った。

高浜町では、療育の施設や、小児科専門の診療施設がなく、児童相談所も敦賀と遠く関係する機関が離れていて連携がとりにくいという特徴がある。また、産後うつなどを専門に相談できる医療機関も近くにない、子育てを支える社会資源が少ないことも特徴である。

高浜町では、保健福祉センターで保健課・子育て支援センター・福祉課・和田診療所それぞれができることを分担しながら協力して外部委託等を活用しながら子育て支援を実施している。

保健福祉センターでは、妊娠から出産育児を各機関と連携しながら支援している。

まず、妊娠が判明すれば、医療機関から妊娠届出書が発行され、

それを持ってセンターでは母子手帳を発行する。これから受けられる妊婦健診の助成など説明の他アンケートを取り、妊娠出産の不安はないか、妊娠訪問を実施されている。

また今までの妊娠の経過においてリスクが高い方や療育上問題がある家庭については、療育支援家庭訪問事業について紹介している。支援員が家庭に訪問して家事や育児の援助や相談に応じる事業である。

妊婦乳児相談事業のスマイルベビーの紹介もしている。ひとつひとつの事業の説明を聞き意見交換をした。



子育て支援センター(保健福祉センター内)

鳥獣害対策特別委員会

委員長 井ノ元康夫

今回の委員会は、平成26年度予算で鳥獣対策事業(3477万2千円)について担当課より詳細説明を受け、質疑を行った。

被害対策では、集落での追い払い、捕獲、柵の設置の3本柱として事業を行っている。従来の事業に加えて今年度より新たに組み込む事業として、各種団体が連携して意見交換できる場所を構築するために、協議会の設立や、獣害専門員の配置、捕獲補助員の設置、研修会、講習会開催、また恒久柵の設置に向けた検討などの説明がなされた。

委員からは町内全域に恒久柵を設置して行く考えはあるのか、設置の財源はどうするのか。などの質問があり副町長、担当課長からは、設置の要望は多く聞いている、現状では「追い払い」「囲う」「捕獲」この3つが実現出来て被害対策であると考えている。恒久柵についてはすでに集落、組合、団体など負担金を支払って設置している地区が多くあり負担は、お願いして頂くことは基本であるが、各地域



サル用に工夫された電気柵

の受け持つ範囲に差が出来ている事や、様々な事業と合わせて資金を準備している集落があるなど一律に負担金額を設定できない状況で、町の財政計画と設置後の維持管理を含め検討の段階である。また財源については国50%の補助額が有力でそれに乗せ出来る補助事業をさぐって行きたいという回答であった。

その後平成25年度の事業で電気柵の設置をされた高野区で現地確認を行った。サル用の電気柵にネットを覆って侵入しにくいようにしてあり、地元の方の対策に対する苦勞と努力を感じた。

原子力対策特別委員会

委員長 大塚ひとみ

関西電力高浜発電所 長谷所長より安全性向上に向けた取り組みと、安全審査の対応の進捗状況について聞き取った。

【質疑応答】

福島原発事故は津波が原因と強調されているが、地震による影響も重要視するべきだと思うが、原子炉への影響は。

事故調査委員会等の報告によると、地震の約40分後に津波が来るまでは通常に停止操作され、地震によって機器が損傷したと確認されていない。

規制委員会の審査に関して、事業者が資料を小出しにしているとの発言があるが、いつ終着が来るのか。

議論の中で世界最高水準の規制に向けて貴重な議論をさせていただいている。議論すべきところはまだ残っているが、3月13日の報告ではプラント部分の審査はほぼ終局に向かっている。

もしも事故が起きた場合、事業者は命を賭してまでもという体制はあるのか。その時にどういう対応をするのか。

どんなことがあっても阻止しようという気合、責任感を持つている。原子炉の安全、止めようとする人命どちらも守ることが使命でありとことん安全対策をしていく。

今後ロボットを持ち近づけない時のことを考えて準備していく。

【要望】

・最近、工事のため人の出入りが増え、バス・トラックが多いと町民から聞くが、事故のないよう教育をしっかりしてほしい。

・現在は作業員が忙しくしているが4～5月には暇になると聞いている。経済的に心配している。仮に再稼動になったとして、人材が揃うのか。モチベーション、人材育成などに常に維持してほしい。

【付託案件の審議】

●請願第1号

規制委員会は安全審査を慎重に行っている。原発を止めている事の弊害を理解してほしい。電気の安定供給、電気料金の値上げなど弱者の負担になり、環境問題を含め配慮するべき。避難計画は大事であるが、避難道の着手、青葉トンネルの拡幅など、今年度中に検証される。少なくともそれからの判断にしたい、などの反対意見が出た。

若狭消防組合議会

組合議員 廣瀬とし子

◇平成25年12月27日(金)

若狭消防組合消防本部3階

第164回

若狭消防組合議会臨時会

今回議長辞任に伴い正副議長選挙が行なわれ、議長におおい町議会議員の今川直樹氏、副議長に小浜市会議員の池田英之氏が選出され本会議が開会された。

若狭消防組合松崎晃治管理者より議案1件が上程された。

【審議事項】

●議案第1号

■平成25年度若狭消防組合一般会計補正予算(第2号)

職員の給与改正などの減額補正で3980万4千円を減額し歳入歳出予算総額は、12億9181万円となる。

【全員賛成で可決】



嶺南広域行政組合議会

議員 栗野 明雄

◇平成25年12月26日

敦賀市立図書館

第3回

嶺南広域行政組合議会定例会

【審議事項】

●議案第4号

■嶺南広域行政組合監査委員の選任につき同意を求める件
小浜市金屋の森下充氏が選任されました。

●議案第5号

■平成24年度嶺南広域行政組合一般会計歳入歳出決算認定

・歳入決算額 11億3555万8127円
・歳出決算額 11億3350万939円
・差引残高 205万7188円

【全員賛成で認定】

「北陸新幹線若狭ルート早期実現に関する意見書」が藤田善平議員が提案者になり、他5名の賛同者で提出された。

【全員賛成で可決】

議会をチェックするのはあなたです

町議会

第6回

出前報告会



批判や意見、提言など
自由なご意見をお聞かせください。

皆さんの声を
町政に！

5月13日(火)午後7時30分

〔2会場同時開催〕

- 高浜会場(瑞祥苑)
- 内浦会場(内浦公民館)

5月14日(水)午後7時30分

〔2会場同時開催〕

- 和田会場(保健福祉センター)
- 青郷会場(青郷公民館)

※どの会場でも自由にご参加ください。



前回の出前報告会の様子

鳥獣捕獲従事者講習会 受講報告

3月21日に青郷公民館で開催された「鳥獣捕獲従事者講習会」に出席してきましたのでその内容をレポートします。

有害鳥獣を捕獲するには原則として狩猟免許が必要ですが、この講習会を受講すると「捕獲補助員」として認められ、狩猟免許所持者が設置した捕獲檻のエサやりなどの日々の管理を行うことができます。

近年、農作物は言うに及ばず日常生活分野にまで鳥獣被害が広がりを見せており、自分たちの地域を鳥獣被害からまもろうとの意識の高まりから、講習会には80名を超える参加者がありました。



講習会では狩猟に関する法規、福井県、高浜町の有害鳥獣被害対策の状況などの聴講と、猟具(わな)の使い方など実技、捕獲技術の習得など、終日みっちり学ぶことが出来ました。

議会としても有害鳥獣対策については特別委員会を設置して被害防止に取り組んでいます。

今回の講習会には議会から狩猟免許を保有している井ノ元(銃・わな免許)、小幡(わな免許)が参加しました。

文責：小幡 憲仁

編集後記

季節は冬から春に移り、過ごしやすい季節となりました。節目の様々な行事があり、入学式も終わり新たな年度が始まります。

平成26年度予算は近年にない大型予算で、新庁舎関連の工事も着工されます。3月議会から重要で時間を掛けた議案を主に編集しました。

この「議会だより」だけではなく、ぜひ議会を傍聴に来ていただいて生の様子を見て頂く事が議員全員の願いです。次回定例会は6月です。皆様が傍聴に来られる事をお待ちしております。

文責 井ノ元 康夫

広報特別委員会

委員長 大塚ひとみ

副委員長 井ノ元康夫

委員 清常 光洋

磯部 武史

小幡 憲仁

勝本 繁昭